



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第28号

平成20年1月15日

あした元氣になあれ

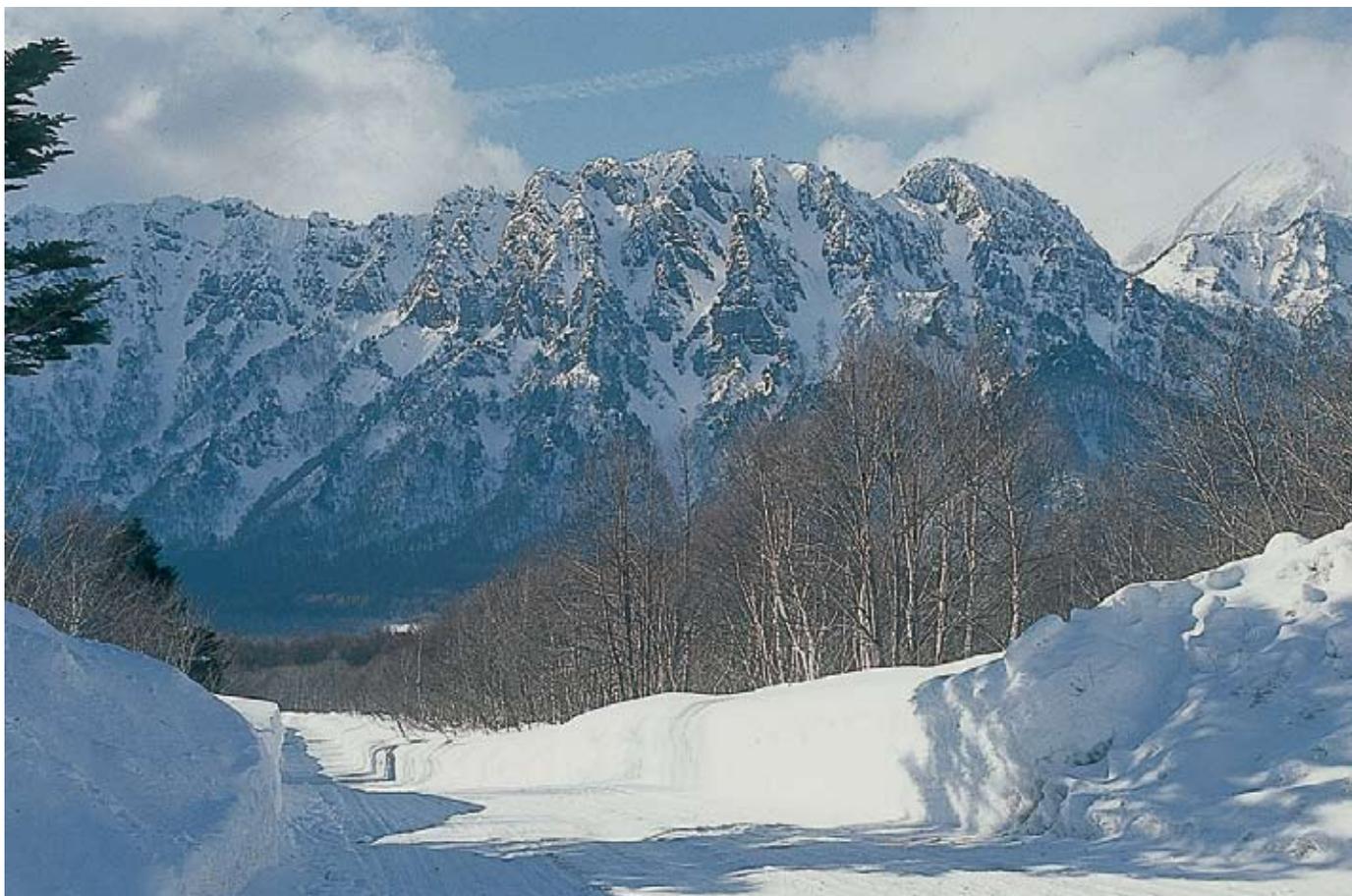
長野市民病院 の理念

1. 命のいとおいさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人権と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります

地域がん診療連携拠点病院

病院機能評価認定病院

臨床研修病院



戸隠連峰 (写真：原田征夫 元事務部長)

年頭にあって

病院長 竹前紀樹

新年明けましておめでとうございます。今年には長野市民病院が大きな飛躍をするためのスタートの年です。四月には念願の新病棟、救急センターがオープンします。全国的に医師と看護師が不足する難しい状況の中で、予定通りのオープンが可能になりましたのは関係者のご協力の賜物です。感謝いたしております。

長野市民病院は平成七年の開院当初より市民の皆さまからも地域の医療機関からも愛され、信頼される地域の中核病院を目指してまいりましたが、これで目標としてきました高度かつ良質、安全な医療の提供が充実した形で実現することになります。

さらに、新たに開設される救急センターには長野市急病センターの機能が移転されるほか、今回の改築で救急車のアクセスが容易になるとともに、設備充実と機能集約により機動性が高まっています。二十四時間三百六十五日の地道な活動を通して市民の皆さまの信頼を得たいと考えています。

現在、新聞やテレビでは毎日のように「地域医療の崩壊」が議論されています。長野市民病院は「ここは市民病院があるから大丈夫」と言われる存在になることを願い、地域の医療機関と連携し皆さまに安心して暮らしていただけるよう努力してまいります。ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

総合防災訓練

平成19年度の防災訓練が12月1日の土曜日に実施されました。今回は休日の大規模災害（想定は地震）時における災害用伝言ダイヤルを使用した非常招集及び各部署・各担当の対応訓練と地域住民の皆さまを含めた避難誘導と救護訓練を行いました。また、1月15日から供用を開始するヘリポートを使い、長野県ドクターヘリによる患者搬送訓練も行いました。参加者は病院職員約100名、佐久総合病院からドクターヘリのスタッフとして医師・看護師・操縦士・整備士の4名、長野市消防局からヘリ誘導や救急車搬送等で数名、患者役等でボランティア・委託職員・建築現場の方々約30名の他、古里・柳原・長沼・朝陽地区の役員の方々のご見学等で総勢約150名の皆様方にご協力いただきました。訓練開始の10時過ぎから、災害伝言ダイヤルを聞いた職員が次々と参集し、30分後にはトリアージセンターや各診療群別ブースが設

置され、模擬患者が搬送されてきました。前回の反省点や中越沖大地震で被災した病院関係者の講演内容等を踏まえ、本部機能の拡充や部門間の連絡体制や診療スタッフの充実を図り比較的スムーズに訓練が行われました。ヘリ搬送訓練では重症熱傷患者について、本部から佐久総合病院救命救急センターへ搬送依頼を行いました。佐久総合病院ヘリポートから僅か20分後に当院ヘリポートに着陸した様子はとても印象的で、その機動性には見学者からもすばらしいとの

お言葉を頂戴しました。その後、ヘリ見学会が行われ地域住民の皆さまもヘリに直接触れたり、操縦士からドクターヘリの話を興味深げに聞いたり質問をされていました。最後に、竹前病院長から講評をいただきました。が、来年4月から本格稼働する救急部門は県北部地域の救急医療の要となるので、職員一同使命感を持って臨んでいたいただきたいとのことでありました。

▲ドクターヘリ飛来の様子
ドクターヘリへの搬送
トリアージ訓練
ストレッチャーによる患者搬送訓練

知っておきたい 医療の知識

No.27



特に思い当たることもないのに鏡を見たら結膜の一部が真っ赤になっていて驚いた、というような経験をお持ちの方がいらっしゃると思います。結膜下出血の可能性がります。眼球結膜は眼球の白い部分(しろめ)の表面をおおっている膜で、血管を伴っています。この結膜にある血管が何らかの理由により破れて出血し、血液

「結膜下出血」

眼科統轄科長 風間 淳

が結膜の下に抜がったものが結膜下出血です。結膜はほぼ透明なため、結膜の下で出血が発生するとまさに真っ赤な血液の色として認識されます。赤い部分の特徴としては、ペンを流したようにべったりした感じになります。出血量が多いと赤黒い色合いに見えることもあります。結膜下出血とは別に、結膜が赤いと認識される状態に結膜充血があります。充血は細かな血管が太くなって赤さが目立つようになった状態で、血管一本一本をはっきり確認するこ

とが出来ます。出血は血が一面に広がるため血管の走行は識別しにくくなり、べたっとした赤色になります。普通自覚症状はほとんどありません。目やにが出たり、ものが見にくくなったりする事はありません。また、結膜下出血は眼球の外側の出血であって、眼内の眼底出血とはべつのものです。一般に結膜下にたまった出血は自然吸収され、とくにお薬等を使用しなくても10日から2週間ほどで徐々に消退します。特にほつきりとした誘因はわからないことが多いのですが、せきやくしゃみ、飲酒などが誘因のことがあります。

治療が必要なことがありますので眼科を受診しましょう。あまり何度も結膜下出血を繰り返す場合には、動脈硬化や高血圧、糖尿病、あるいは出血を起しやすい病気が原因となっていることもあります。結膜下出血は結膜が赤くなっていることのみはほとんど症状がありませんので、何か他の症状を伴っている場合には眼科を受診しましょう。

平成19年 長野市民病院10大ニュース

平成19年を振り返って、長野市民病院10大ニュースを紹介します。

1月	地域がん診療連携拠点病院に指定されました 1月31日付で厚生労働省が指定する地域がん診療連携拠点病院に指定されました。
4月	竹前紀樹新病院長(新理事長)が就任しました 竹前紀樹副院長が新病院長(新理事長)に就任し、長田敦夫前病院長(前理事長)は名誉院長に就任しました。 南棟1階、中央棟がオープンしました 南棟1階には、リハビリテーションセンター、内視鏡・超音波センター、健診センターが、中央棟には第2外来として婦人科、呼吸器外科、神経内科、女性専門外来、膠原病外来と外来化学療法センター、MEセンター、看護実習室などが移転しました。 病院敷地内が全面禁煙になりました 4月1日より屋外喫煙所を廃止し病院敷地内は全て禁煙となりました。
5月	第6回日本医療マネジメント学会長野地方会を開催しました 当院が当番病院となり「医療安全」「地域医療連携」「DPC」を主テーマに講演、演題発表が行われ、61施設の方々にご参加いただきました。
6月	第1回病院祭を開催しました 平成19年6月2日(土)、大林宣彦映画監督による講演会のほか、新棟見学、各種相談、検査・測定(メタボリックチェック)、模擬店、体験コーナーなどを開催しました。約2,100人の方にご来場いただき大変な賑わいを見せました。 副院長が4名体制となりました 副院長が宗像康博診療部長兼外科統轄科長、岡根谷利一泌尿器科統轄科長、平井一也呼吸器科統轄科長兼内科統轄科長、長谷部修消化器科統轄科長の4名体制となりました
9月	3テスラMRI装置が稼働開始しました 開院当初から使用していた1.5テスラMRI装置が最新の高磁場3テスラMRI装置に更新されました。県内施設での導入は当院が3番目となります。
11月	メタストロン注によるがんの骨転移の痛みに対する緩和治療が開始されました 放射性物質ストロンチウム89の注射(メタストロン注)が9月に薬価収載されたことに伴い、当院で新しい治療法として導入しました。
12月	ヘリポートが完成しました ドクターヘリ受入れも含めた総合防災訓練を実施しました。平成20年1月15日より供用開始となりました。

新救急体制について



①救急車入口
(救急車からリモコン操作が可能な電動チェーンゲートが設置され、救急車の入りがスムーズになりました)



②救急車到着の様子
(最大2台まで駐車可能です)



③救急車出口
(ドライブスルー形式となっており、バックせずに出入可能です)



④蘇生コーナー



⑤スタッフステーション



⑥点滴コーナー



⑦診察室
(通常の診察室4部屋、感染用診察室1部屋あります)



⑧救急センター出入口
(待合コーナーも広くなりました)



⑨救急患者専用エレベーター
(2階ICU、HCUへ直通となっています)

平成20年4月からいよいよ365日24時間体制の救急センターが本格的に稼働開始します。今回の改修工事により、トリアージ室や蘇生、処置、点滴、観察などの目的別にエリアが分かれたコーナーが設置されたほか、4部屋の診察室や感染診察室の設置や、複数の救急車を受入できるように救急車出入口を拡張するなど、設備的に充実したものになりました。また、救急患者専用エレベーターの設置により、救急センターから救急・重症病棟（ICU、HCU）へと短時間で搬送が可能になりました。

平成19年1月～12月の当院における時間外救急外来患者数は年間約5,500名で、そのうち救急車による搬送患者数は約1,800名ですが、4月以降は長野市急病センターの機能移転もあり救急患者数の増加が見込まれます。また、1月15日からドクターヘリ、防災ヘリ、県警ヘリによる患者搬送の受入及び転院搬送依頼の運用も正式に開始となりましたので、広域災害発生時にも対応できる体制を整えてまいります。

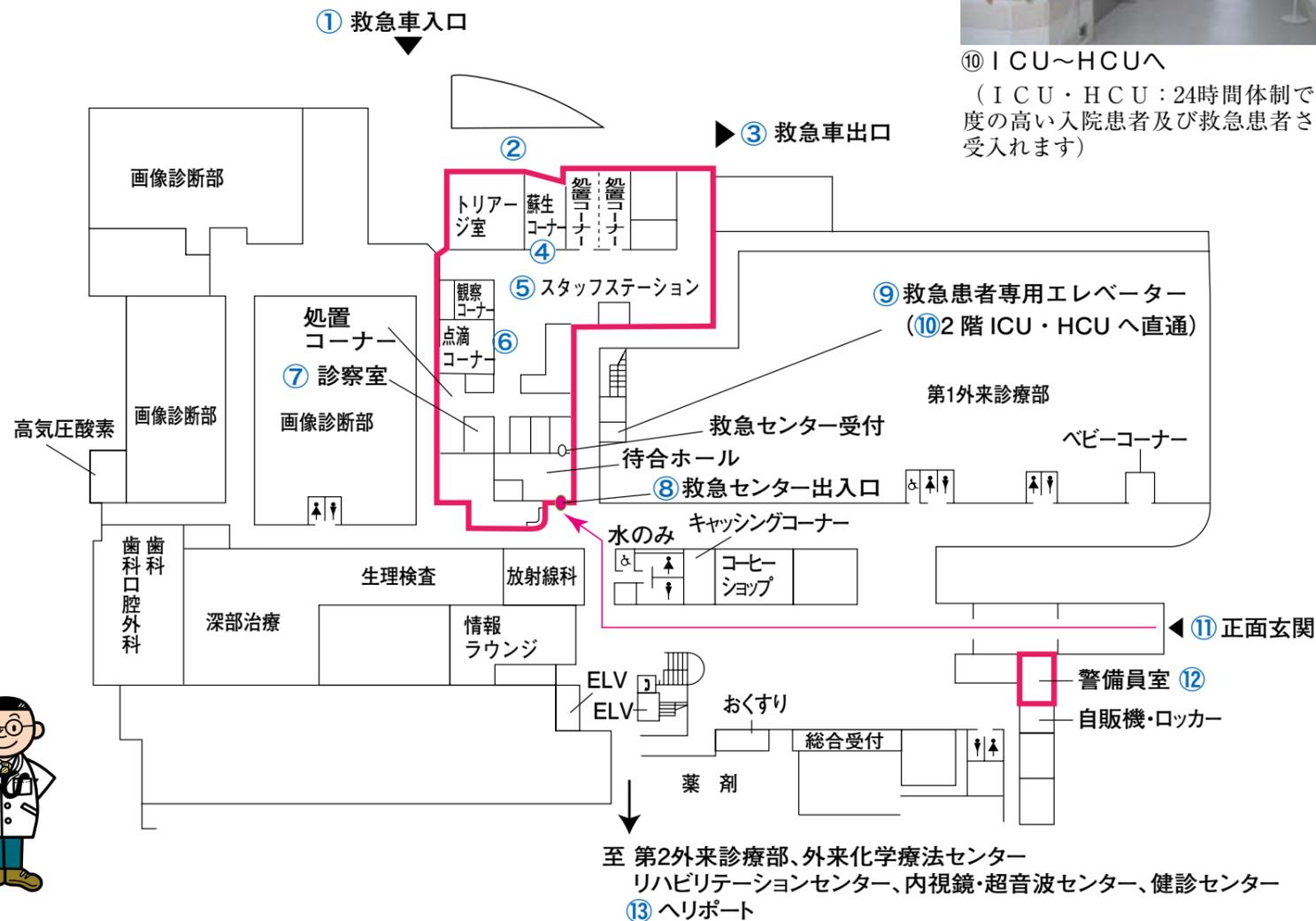
現在、4月のオープンに向けて医師や看護師等のスタッフ確保に引き続き取り組みつつ、ICLS（医療従事者のための蘇生トレーニングコース）などの勉強会を積極的に行い、病院全体として救急医療に関わるスタッフの教育強化を図っています。今後、急性期医療を担う地域の中核病院として、地域の皆さまに安心して暮らしていただけるよう救急医療体制の充実を進めてまいります。



⑩ICU～HCUへ
(ICU・HCU：24時間体制で重症度の高い入院患者及び救急患者さまを受入れます)



⑪正面玄関
(夜間休日に救急センターへお越しの場合にも、正面玄関をご利用ください)



⑫警備員室



⑬ヘリポート
(1月15日からドクターヘリ、防災ヘリの受入が開始されました)



医師・看護師募集案内

医師募集

1. 求人内容 ※随時、受付しています

- 救急医(数名:専従・兼任)
- 内科医(消化器科、循環器科、呼吸器科、腎臓内科、内分泌代謝科等)
- 外科医(消化器外科、呼吸器外科・乳腺外科等)
- 小児科医(女性医師のフレキシブルな勤務歓迎します)
- 放射線治療医 ●緩和ケアに興味のある医師 ●健診医
- 整形外科医 ●婦人科医 ●総合診療医 ●麻酔科医
- 脳卒中に興味のある医師 ●女性専門外来担当医(パート勤務可)
- 後期研修医:数名
- 上記以外についてはお電話にてお問合せください。

2. 勤務・福利厚生等

- 勤務条件:基本的に当院の規程によりますが、年齢、経験に応じて、勤務形態や待遇を考慮します。(パート勤務歓迎)
- 休日:土日祝、年末年始休暇、リフレッシュ休暇有
- 認定医、専門医等取得の指導・支援体制も整っています。
- 学会等にも計画的に参加できます。
- 託児所有(22:30迄託児可能)

医師修学生募集

医学生修学資金貸与制度等の開始について

長野市民病院では、医師の確保と定着を図るため、医師資金貸与制度を設けました。
(1月10日より施行開始)

◆**修学資金**
(対象)原則として医師免許を取得した年の4月から医師(初期研修医)として市民病院に勤務しようとする意思のある医学生。
(金額)月額22万円

◆**研究資金**
(対象)医師免許取得後3~5年目までのいわゆる後期研修医(ただし信州大学医局からの派遣医師を除く。)のうち、市民病院に2年以上勤務しようとする意思のある者
(金額)2年以上勤務見込200万円、3年以上勤務見込300万円
※両資金とも返済免除規定あり。
詳細はお電話にてお問合せください。

看護師・看護師修学生募集

1. 当院看護部の特徴

- 7:1看護配置基準
患者様に手厚い看護と働きやすい環境をめざします
- 充実した教育研修
院内外の研修・研究会等計画的に参加できます
- プリセプターシップを採用
- 専門性も高められます
認定看護師が4名在籍しています



2. 求人内容 ※随時、受付しています

- 正看護師(正規職員)
交替制勤務可能な方(60歳未満)
- 正看護師(非正規職員)
交替制勤務ができない方、パート勤務希望の方も歓迎

3. 勤務・福利厚生等(正規職員)

- 勤務形態:変則3交替制(勤務帯は以下のとおり)
8:30-17:15、12:15-21:00、20:45-8:45
- 寮完備。託児所有(22:30迄託児可能、全職員利用可)
- 育児休業3年迄取得可
- 社会保険:健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

4. 看護師修学資金制度のご案内

対象:看護師養成施設に在学中(又は在学予定)の人
貸与額:年額60万円(最長4年間迄貸与可)
返済免除規定もあります。
詳細は右記担当へお問合せください。

看護師免許をお持ちの在宅の方、キャリアを続けませんか?

『看護師再就職支援セミナー』のご案内(20年2月)

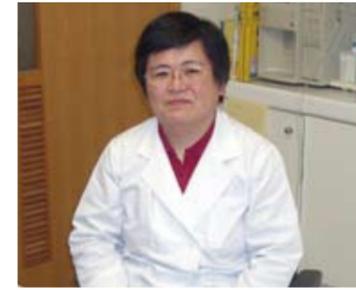
短時間の勤務でも続けていれば、本格的に復帰したい時の不安も軽くなります。当院では、子育て中のお母さん看護師(パート勤務)や自分のキャリアプランを持って働いている日勤看護師(8時間勤務)等が外来や病棟の各職場で活躍しています。今すぐの復帰でなくても今後の参考にお気軽にご参加ください。

講義 2/12・26 3/11(13:30~16:00)
実習 3/18・19(10:00~16:00)

※全部で5日間のプログラムとなります。
参加の申込や勤務のご相談は看護部へお問合せください(内線3204)

随時見学可能です。
見学や応募等、どうぞお気軽にお問合せください。
〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL:026-295-1199
ホームページ:
<http://www.hospital.nagano.nagano.jp>
総務人事課人事担当(内線4400)
E-Mail: career@hospital.nagano.nagano.jp

滝沢先生は長野市若穂のご出身で、金沢医科大学をご卒業され東京都立豊島病院の産婦人科で研修後、帝京大学付属病院など東京の病院で勤務されました。その後、長野赤十字病院での約10年間の勤務を経て、昭和41年にお父様が開業された現在の診療所で平成13年6月から診療されていらっしゃいます。



ご両親が産婦人科医療にかかわっており、生まれ育った環境による影響と人のためになることをしたいという思いが医師を志されたルーツだそうです。

ピアノ、音楽鑑賞(クラシック)、ウォーキングなどがご趣味とのことで、ピアノはお子様もやられているそうです。

開業後は、一般内科・産科・婦人科・老人医療・介護医療・健康相談など幅広い分野をカバーされるようになり、患者様は家族ぐるみで受診されることも多いそうです。これにより地域の人達と医療を通して密接に関わるようになり、精神面での苦しみや背景なども理解できるようになったことに非常にやりがいを感じられるそうです。取材を通して先生の温かい人柄やじっくりと親身になって話を聞いていただける姿勢から、患者様も安心感をもって受診できるのではないかと感じました。また、診療所の建物も木造でとても温かみのある空間となっていました。

なお、現在月1回当院の女性専門外来に婦人科の非常勤医師として診察していただいています。今後も当院との病診連携を活用し地域全体での医療の役割分担を図っていきたくとおっしゃっていました。

登録医制度による地域医療連携システムが平成15年4月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。
なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、日頃お世話になっている登録医の医師を順次紹介してまいります。

登録医紹介

No.14

みなさまの声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見・ご要望をいただいております。
毎月、貴重な意見を集約して職員に回覧できるところから改善、検討を加えておられます。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いします。

父 の手術で来ましたが、家族部が1つしかなく、手術中に待っている時、他の家族の方も狭くて大変でした。それぞれ親戚の方も来ますので、こんなに広くてきれいな病院です。もっと家族部屋があるとありがたいです。
(見舞い者 女性)

ラ ウンジの赤い線の内側では携帯電話が使えますが、テレビの音よりも大きな声で長話をする人がいます。携帯の音が大きいので、周りで話している人の声も大きく聞かれます。
(見舞い者 女性)

毎 日の食事が遅くて、お年寄りの方には可愛そうに思いますが、朝食・夕食は早めにお願ひできませんか。
(入院患者 女性)

るので、ボリュウムを大きくするこ
とになり、ラウンジの中はとて
るさくなります。携帯はエレベータ
前の電話コーナーだけにしていた
けないでしょうか。(入院患者 男性)
◆**回答** 携帯電話の使用場所につ
いては、ご指摘のとおりラウンジで
休みの方には迷惑をおかけするこ
ともございますが、現在は医療機器
への影響を考慮した上で、ラウンジ
の一角を指定しております。昨今、
他病院でも携帯電話の使用制限につ
いては様々でございますが、利用者
のマナーをお願いする一方で、当院
としても使用場所・制限については、
今後検討してまいります。

B GMについて、金属音の音
りでつらいです。健康な人にはわか
らないと思います。音楽の選定には
気を使ってもらうことを強く要望し
ます。
(外来患者 男性)
◆**回答** BGMにつきましては、10
月下旬に曲目等を変更させていただきます。
◆**回答** 今後の選曲時には、ご指
摘事項等も配慮させていただきます。

◆**回答** 朝食の7時30分に関しては
他の病院と比較しても遅くないと思
います。夕食に関しましては、18時
以降に提供させていただくことにな
っておりますので、ご理解いただき
ますようお願いいたします。

外来診療担当表は、1月15日現在で作成されております。担当医師が変更となっている場合もございますので、お問合せください。

平成20年1月15日現在
長野市民病院
○印は初診担当です

外来診療担当日一覧

	月	火	水	木	金	専門
内科 (呼吸器科) (消化器科) (循環器科)	○武藤 英知 ○吉池 文明 平井 一也 越知 泰英 立岩 伸之 阿部 直之 ○西井 裕	須藤 桃子 吉池 文明 ○山崎 誓一 - ○丸山 隆久 ○彦坂 吉興 掛川 哲司	山崎 誓一 西井 裕 平井 一也 ○越知 泰英 丸山 隆久 ○笠井 俊夫 ○長谷部 修	武藤 英知 吉池 文明 山崎 誓一 ○立岩 伸之 丸山 隆久 ○町田香津子 ○掛川 哲司	彦坂 吉興 ○阿部 直之 ○平井 一也 武藤 英知 ○須藤 桃子 笠井 俊夫 長谷部 修	平井一也 (呼吸器) 長谷部修 (消化器・内視鏡) 西井 裕 (糖尿病・内分泌代謝疾患) 丸山隆久 (循環器) 笠井俊夫 (循環器) 越知泰英 (消化器・内視鏡) 掛川哲司 (腎臓) 吉池文明 (呼吸器) 山崎誓一 (呼吸器) 立岩伸之 (消化器・内視鏡) 武藤英知 (消化器・肝臓) 阿部直之 (循環器) 須藤桃子 (消化器) 彦坂吉興 (消化器)
小児科	池野 一秀 青沼 (AM10時迄)	池野 一秀 -	青沼架佐賜 -	池野 一秀 -	青沼架佐賜 -	青沼架佐賜 (発達・神経・循環器・心身症) 池野一秀 (免疫・アレルギー)
午前10時以降 午後 専門外来 (予約制)	乳児一般健康診査	小児心療内科外来 免疫・アレルギー	小児心療内科外来	免疫・アレルギー 循環器外来	神経外来 小児心療内科外来	
外科 (消化器外科)	沖田 浩一 ○関野 康 -	佐近 雅宏 ○関 仁誌 草間 啓	関野 康 宗像 康博 ○沖田 浩一	- ○佐近 雅宏 -	○草間 啓 関 仁誌 ○濱田 浄司	宗像康博 (消化器・胃大腸) 関 仁誌 (消化器・肝臓・胆道・膵臓) 草間 啓 (消化器) 沖田浩一 (消化器) 佐近雅宏 (消化器) 関野 康 (外科) 濱田浄司 (外科)
整形外科	松田 智 南澤 育雄 ○中村 功 ○藤澤多佳子 ○山田 誠司	(藤澤多佳子) 竹山 和昭 ○岡本 正則 ○松田 智 ○南澤 育雄	(藤澤多佳子) 竹山 和昭 中村 功 ○山田 誠司 ○南澤 育雄	○松田 智 岡本 正則 中村 功 (午後) ○藤澤多佳子 ○竹山 和昭	- 南澤 育雄 ○中村 功 山田 誠司 ○竹山 和昭	松田 智 (上肢・末梢神経) 南澤育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股関節痛) 竹山和昭 (脊椎・関節疾患) 山田誠司 (関節疾患) 中村 功 (脊椎) 岡本正則 (整形外科)
形成外科	○滝 建志 柴 将人	○長田 佳郎 柴 将人	○滝 建志 柴 将人	滝 建志 ○柴 将人	○滝 建志 柴 将人	滝 建志 (形成外科) 柴 将人 (形成外科)
脳神経外科	○大屋 房一 柿澤 幸成	○柿澤 幸成 花岡 吉亀	○大屋 房一 竹前 紀樹	○柿澤 幸成 大屋 房一	○竹前/花岡 (交替制)	竹前紀樹 (脳腫瘍・脳血管障害) 大屋房一 (脳血管障害・脳血管内手術) 柿澤幸成 (脳腫瘍・脳血管障害) 花岡吉亀 (脳神経外科)
皮膚科	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實 (皮膚科)
泌尿器科	上野 学 岡根谷利一	上垣内崇行 中沢 昌樹	上垣内崇行 岡根谷利一	上野 学 中沢 昌樹	中沢 / 上野 (交替制) 上垣内崇行	岡根谷利一 (悪性腫瘍・前立腺肥大) 中沢昌樹 (神経因性膀胱) 上垣内崇行 (尿路結石・前立腺肥大) 上野 学 (泌尿器科)
眼科	風間 淳 -	風間 淳 中村さち子	風間 淳 柳平 朋子	風間 淳 -	風間 淳	風間 淳 (眼科)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	休診	野村 康	野村 康	野村 康 (耳鼻咽喉科)
放射線科	メタストロン外来	橋田 巖	休診	橋田 巖	橋田 巖	今井 迅 (画像診断) 橋田 巖 (放射線治療)
歯科 口腔外科	○楠 公孝 田村 稔	○田村 稔 楠 公孝	○楠 公孝 田村 稔	○酒井 洋徳 -	○田村 稔 楠 公孝	田村 稔 (口腔腫瘍) 楠 公孝 (口腔外科)
神経内科	○山本 寛二 ○町田香津子	山本 寛二 -	○町田香津子 -	○山本 寛二 -	山本 寛二 -	山本寛二 (神経内科) 町田香津子 (神経内科) 第2外来
呼吸器外科	齋藤 学 (交替制)	西村 秀紀	齋藤 学	西村 秀紀	休診	西村秀紀 (呼吸器・乳腺・甲状腺) 齋藤 学 (呼吸器) 第2外来
婦人科 (膠原病外来)	○西澤千津恵	○塚本 隆是 -	○森 篤 西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	森 篤 (悪性腫瘍・不妊症) 西澤千津恵 (婦人科) 第2外来
	-	-	(池田三知代)	-	-	第2外来

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199 FAX 026-295-1148
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社
長野市民病院

■発行人: 竹前紀樹
■編集: 長野市民病院
広報誌編集委員会



*新任・1月1日付
形成外科医師 柴 将人

*退職・12月31日付
形成外科医長 池上 みのり
(信州大学医学部へ)

医師人事異動